

○ 未来を創る「キーワード」：わくわくと成長

「成功したからわくわくするのではない。わくわくしているから成功するのだ」
「次はどうなるんだろう?」「もっとやってみたい!」という期待感(わくわく)が脳を活性化させ、潜在能力を呼び覚まします。他人と比べるのではなく、昨日の自分から新しい自分にアップデートし続ける。本校は、多くの成長を可能とする場所を目指します。

3 今年度の重点目標：考えをもつ・協働する・表現する

グランドデザインの「帆」に掲げた通り、今年度は以下の3点を重点的に推進します。

① 自分事として捉える(考えをもつ)

物事をしっかり見つめ、自分なりの考えを持つようにすることを大切にします。一人一人が自分の「わくわく」をイメージし、自分なりの成長目標を描きます。

② 仲間と協働する(つなぐ・ひろげる)

得意なことでは助け合い、異なる価値観を受け入れる。学校は、「最高に難しいけれど、最高に楽しいチームプレー」を練習する場所です。自分を出しつつ、仲間の考えも尊重する。このような高度なわくわくを体験させたいと思います。

③ 表現する(形にする)

言葉や形にすることで自分の考えを客観視し、それが誰かの「わくわく」のきっかけを作ります。

4 成長を引き出す3つの具体的な柱

日々の教育活動において、以下の3つの柱を軸に支援をしてまいります。

① 主体的・対話的で深い学び(確かな学力の育成)

② 寛容で共感的な人間関係(豊かな心の育成)

③ 健康で安全な生活を実践する力(健やかな体の育成)

5 おわりに

これらの全ての教育活動は、**子どもたちの潜在能力＝成長**を呼び起こすためのものです。「わくわく」が溢れ、毎日誰かが「新しい自分」に更新されていく。このような活気ある学校を、地域の皆様、保護者の皆様と共に創り上げていければ幸いです。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

1年間、よろしくお願いいたします。

令和8年度 旭川市立六合中学校 校長 大熊 修一